

文献\*<sup>1</sup>はこの業界で最も広く読まれている基礎文献であり，大学院に入学するまでに必読である．また，文献\*<sup>2</sup>は新たな分野を拓いた最初の文献であり，当初の問題意識を知るうえで重要である．

## 参考文献

Foo, B. “The birth of foobar.” *J. Foobar* 255 (1990): 19–454.

太郎, 保毛. “ほげと千年紀—foobar の視点から—.” ほげ学会論文誌 100 (2000): 20–42.

太郎, 保毛, 布我 次郎, 山田 三郎. “ほげとふがの意味論.” ほげ学会論文誌 101 (2001): 53–58.

---

\*1. B. Foo, “The birth of foobar,” *J. Foobar* 255 (1990): 19–454; 保毛 太郎, “ほげと千年紀—foobar の視点から—,” ほげ学会論文誌 100 (2000): 20–42.

\*2. 保毛 太郎, 布我 次郎, 山田 三郎, “ほげとふがの意味論,” ほげ学会論文誌 101 (2001): 53–58.